

# 女性数学者交流会「女性だれでも懇談会」の紹介

東京大学大学院数理科学研究科

佐々田 槇子

奈良女子大学大学院自然科学系数学領域

嶽村 智子

2014年日本数学会秋季総合分科会において「女性数学者交流会」が開催されて以降、女性数学者の交流のための懇談会が、日本数学会男女共同参画社会推進委員会の主催により、2022年1月現在までに計8回開催されました。下記の交流会の記録にあります通り、2016年からは「女性だれでも懇談会」という名前で開催されています。2019年からは同委員会に「女性だれでも懇談会」担当の専門委員も配置され、年会・秋季総合分科会に合わせて、年2回の定期開催となりました。

この懇談会は、研究活動が続ける上での悩みや喜びなどを分野や年代をこえて女性数学者の間で共有し、より充実した研究活動ができるような交流の場を作ることを目的としています。キャリアプランや、ライフイベントと研究の両立の課題等について情報交換し、女性研究者が働きやすい環境作りに役立てること、また大学院生の参加も積極的に促し、女性数学者育成につながることを、さらに、この場で出た意見や情報、ネットワークが、女性に限らず全ての研究者にとってより良い研究環境の実現へとつながることも期待し、2014年に佐々田と嶽村から日本数学会男女共同参画社会推進委員会へ提案し、下記に詳述の通り多くの方のご尽力をいただき、同委員会の主催による開催の運びとなりました。この懇談会をきっかけに、女性数学者のメーリングリストが発足するなど、女性数学者同士のネットワーク作りの場ともなっています。私たち自身、この懇談会をきっかけに、それまで接点のなかった多くの方と知り合うことができました。

「女性だれでも懇談会」の案内を学会のHP等でご覧になられた方もいらっしゃるかと思いますが、参加したことがあるという方はまだ少ないと思いますので、「女性数学者交流会」提案の背景や開催までの経緯、懇談会の雰囲気、これまでの歴史（というほどにはまだ長くはないのですが）などをご紹介します。男女問わず多くの方に懇談会について知っていただき、関心をお持ちと思われる周囲の方にもご紹介いただけますと幸いです。このような機会をいただきました『数学通信』編集委員会の皆様、男女共同参画社会推進委員会委員長の大山口菜都美先生に感謝申し上げます。また、いつも「女性だれでも懇談会」開催に多大なご尽力をいただいている（歴代を含む）男女共同参画社会推進委員会の皆様に、あらためて心より感謝いたします。

## ＊「女性数学者交流会」提案の背景

私たち（佐々田と嶽村）は年齢・研究分野も近く、キャリアの早い段階（大学院在学時）に知り合うことができました。他にも、互いに励まし支え合える同世代の女性数学者が、少数ですが同じ分野にいましたので心強い環境で研究活動を始めることができたように思います。日々の研究活動の小さな疑問や困りごと、女性が圧倒的に少ない研究集会での（特に大学院生など若い頃の）心許なさ、ライフイベントと研究のバランス、改姓（旧姓使用）や産休育休取得等の際に生じる種々の問題、などをたまに会う機会に共有し、情報交換をしていました。ただ、公私共にいろいろな経験をする中で、近くに限られたネットワークだけでは解決できない問題も増え、もっとオープンなコミュニティで情報交換・共有できると、自分達だけでなく、近くにこうした相談のできる研究者がいない方、同性の研究者との交流をもっと持ちたい方等のためにもなるのではないかと考え、「女性数学者交流会」を開催できないかと考えるようになりました。

2014年以前にも個々の分野において女性数学者の研究集会や有志のランチ会などは存在しましたが、分野や所属機関、世代をこえた交流の実現、また、知り合いのいない方にも安心して参加いただくために、「女性数学者交流会」を学会期間中に日本数学会の会場で行うことができれば意義があるのではないかと考え、日本数学会男女共同参画社会推進委員会への提案にいたりました。

## ＊懇談会立ち上げと現在までの経緯

2014年3月の日本数学会年会開催中に、当時の男女共同参画社会推進委員会担当理事の小磯深幸先生に、次回の数学会の際に女性数学者のランチ会または夕食会を開催大学の教室を利用し企画できないかと相談のメールをいたしました。小磯先生から大変温かい応援をいただき、小磯先生から同委員会委員長の宮岡礼子先生と委員の平田典子先生にご相談いただき、男女共同参画社会推進委員会が主催または後援するという事で部屋を確保することは可能であると助言を頂きました。手続きが間に合えば9月の学会時から開催いただけることとなり、9月の学会に向けて準備を進めることとなりました。ここからは、同委員会の皆様のご尽力下さり、2014年9月26日広島大学で行われた2014年度秋季総合分科会において、第1回目の「女性数学者交流会」が男女共同参画社会推進委員会企画により開催されました<sup>1</sup>。この際、大会実行委員長・作間誠先生（広島大学）

---

<sup>1</sup>日本数学会 HP 内の「男女共同参画社会推進への取り組み」の記録によりますと、(少なくとも)2003年年会・秋季総合分科会、2005年の年会のそれぞれにおいて「男女共同参画社会推進にむけての懇談会」が開催されています。こちらの懇談会は、男女問わずの参加者によって行われていました。

から、使用する教室について多大な配慮をいただき、交流会の趣旨にあう部屋をご準備いただきましたことも、その後交流会が続く一因になりました。

その後、私たち二人が共に育休に入ったことで少し時間があきましたが、筑波大学で開催された2016年度年会にあたって、再び女性数学者交流会の開催を提案し、当時の理事長の小谷元子先生、男女共同参画社会推進委員会委員長の杉山由恵先生に多大なご支援をいただき、男女共同参画社会推進委員会の主催で「女性だれでも懇談会」が開催されました。懇談会には小谷先生、杉山先生にもご参加いただき、大変活気のある会となりました。その後、2017年度年会（首都大学東京）、2019年度年会（東京工業大学）の際にもそれぞれ同様の提案を行い、懇談会が開催されました。2017年度年会の開催にあたっては、小谷先生、杉山先生に再び大変ご支援をいただきました。また、2019年度年会での開催にあたっては、当時の男女共同参画社会推進委員会委員長の柏原賢二先生、委員の高津飛鳥先生に大変なご支援をいただきました。

さらに2019年度年会での懇談会の開催準備の過程で、「女性だれでも懇談会」の継続的な開催についても議論する機会を設けていただき、男女共同参画社会推進委員会に「女性だれでも懇談会」担当の専門委員を設立することについて、当時の同委員会委員長の柏原先生のもと、2018年に可決されました。このことについて、高津先生を中心に、当時の男女共同参画社会推進委員会委員の皆様にはお忙しい中丁寧に議論いただき、また同委員会担当理事の清水扇丈先生には理事会で懇談会の継続的運営についてご説明いただき、大変なご尽力をいただきました。専門委員は任期一年で、「女性だれでも懇談会」以外の仕事のない委員とし、若手研究者でも大きな負担にならないように配慮していただきました。

今村悠里先生と櫻井みぎ和先生に初代の専門委員を引き受けていただき、2019年度秋季総合分科会からは、年会・秋季総合分科会の年2回、定期的に「女性だれでも懇談会」が開催されることとなりました。お二人は二期にわたって専門委員を担当され、金沢大学（2019年度秋季総合分科会）、熊本大学（2020年度秋季総合分科会）、慶應義塾大学（2021年度年会）で「女性だれでも懇談会」が行われました。新型コロナウイルスの影響で2020年度の秋季総合分科会からはオンライン（Zoom）で開催されています。2021年度からは石田祥子先生と篠田万穂先生が専門委員となり、2021年度秋季総合分科会（千葉大学）においてもオンライン（Zoom）で開催されました。オンラインで開催されることにより、介護や育児などの事情でこれまで会場での参加が難しかった方にも気軽に参加いただけるというメリットがありました。

## \*懇談会の雰囲気や話題について

懇談会の雰囲気は、開催毎に様々ですが、話題が尽きずあつという間に時間が経ってしまうということはいつも感じています。最近ではオンライン開催で以前とまた違った雰囲気ですが、前回（2021年度秋季総合分科会）の懇談会では、事前にZoomの背景に氏名と所属、専門分野を表示することを石田先生と篠田先生が企画して下さり、背景にも個性が出て大変楽しい会となりました。交流会の話題は、多岐にわたります。最近では、オンライン授業、オンライン研究集会の開催についてなどの情報を共有することも増えてきました。

2016年には、産休や育休に関して、休暇の取得・非常勤講師の配置、復帰後の支援等について、前例がない数学教室も多く、女性研究者本人だけでなく数学教室全体の運営として困難に直面することがあることが話題にあがりました。これをきっかけとして、女性研究者だけでなく教室運営に携わる全ての研究者のために、「数学通信」第22巻第3号において、松澤淳一先生に「若手女性研究者支援の実践<sup>2</sup>」というタイトルで奈良女子大学の支援の実態を教室を運営する立場から紹介いただき、貴重な情報共有の機会を得ました。実際のご経験に沿った大変具体的な内容で、ぜひ様々な方に読んでいただきたいと思っています。

また、懇談会を機に得られた広い女性研究者のネットワークの中で、ハラスメント事案が女性研究者の置かれている環境に多く存在することも見えてきました。特に、所属機関をこえた研究活動上で発生するハラスメントに対して、現状では公的な相談先がなく、何か対応ができないかということも多くの方と議論をするようになりました。このような取り組みが現在所属している会員のためだけでなく、また女性研究者だけでなく、今後数学会の未来を担う全ての若手研究者が安心して活躍できる環境を作り、更なる数学会の発展に寄与すると願っています。

もちろん課題や困難についての話題だけでなく、研究や教育、私生活などでの楽しいエピソードもたくさん共有し合っていて、いつも元気や良い刺激をもらっています。そうした前向きな雰囲気の中で、キャリアの不安、研究や教育活動の悩み、パートナーとの別居問題（二体問題、two-body problem）、育児や介護との両立、ハラスメント等の困難な課題についても、当事者であるかに関わらず、参加者同士で知恵を出し合う良い雰囲気がうまれていると感じます。

---

<sup>2</sup><https://mathsoc.jp/publication/tushin/2203/joseishien.pdf>

## \*今後について期待すること

昨今、ダイバーシティ（多様性）、インクルージョン（包括的）という言葉を目にする機会も増えてきているかと思いますが、個々の課題を当事者だけの問題として捉えず、私たちのコミュニティが抱える問題として認識することが大切な一歩だと思います。懇談会で話題となった「課題」の多くは、性別などの個人の属性によらないものであり、個々のテーマについて、女性数学者の懇談会とは別の形でもコミュニティとして議論する場が増えていくことを願っています。一方で、数学会において女性はまだ圧倒的な少数派であり、それゆえにキャリアの選択や継続に不安や困難を感じることもあるのが現状だと感じます。分野や所属機関、同世代などは、各研究者がお互いにさまざまな情報や知恵を共有し合うネットワークの場となり、こうしたネットワークに支えられて様々な困難に立ち向かうことができるものですが、女性研究者は、こうしたネットワークが十分に得られなかったり、その中では十分な情報や支えが得られない場合があるというのが、一つの原因ではないかと感じています。各研究者が、より多様なネットワークを持つことで、個人としてもまたコミュニティとしても、さまざまな課題をより良い形で解決できると感じます。「女性だれでも懇談会」がそのようなネットワークの一つを提供し、数学会会員のより良い研究環境作りに貢献し続ける場となることを願っています。

## \*これまでの「女性数学者交流会」および「女性だれでも懇談会」の記録<sup>3</sup>

(第一回) 女性数学者交流会

日時：2014年9月26日（金）12:00 – 14:00（出入り自由）

会場：広島大学総合科学部 K 棟 K202

(第二回) 女性数学者交流会「女性だれでも懇談会」

日時：2016年3月18日（金）12:15 – 13:00（出入り自由）

会場：筑波大学 1C 棟 2階 1C210

(第三回) 女性だれでも懇談会

日時 2017年3月27日（月）12:15 – 13:00（出入り自由）

会場 首都大学東京 11号館 301教室

(第四回) 女性だれでも懇談会

日時 2019年3月19日（火）11:30 – 12:50（出入り自由）

会場 東京工業大学 大岡山キャンパス 西8号館 3階 W834講義室

---

<sup>3</sup>各会の開催報告が日本数学会 HP の「男女共同参画社会推進への取り組み」に掲載されています。

(第五回) 女性だれでも懇談会

日時 2019年9月19日(木) 11:30 - 12:50 (出入り自由)

会場 金沢大学 角間キャンパス 自然科学本館1階ワークショップ2

(第六回) 女性だれでも懇談会 (オンライン)

日時: 2020年9月24日(木) 11:30 - 12:50 (出入り自由)

(第七回) 女性だれでも懇談会 (オンライン)

日時: 2021年3月17日(水) 11:30 - 12:50 (出入り自由)

(第八回) 女性だれでも懇談会 (オンライン)

日時: 2021年9月16日(木) 11:30 - 12:50 (出入り自由)

### \* 「女性だれでも懇談会」の開催案内の周知方法

今後参加を希望される方向けに「女性だれでも懇談会」の開催案内の周知方法を紹介いたします。お近くにいらっしゃる女性数学者(学生も大歓迎です)へお声をかけていただけましたら幸いです。

- 1) 日本数学会ニュースレター
- 2) 年会・秋季総合分科会のHP(次ページをご参照ください)
- 3) その他、各分科会のメーリングリスト

上記のような方法で、今後も開催案内が行われることと思います。毎回和やかな雰囲気で行われていますので、これまで参加したことのないという方も、ぜひお気軽にご参加いただけましたら幸いです。

最後に、上記でお名前を挙げることはできませんでしたが、女性数学者交流会の提案にあたりご助言や後押しをいただきました富崎松代先生、舟木直久先生、またこれまでの「女性数学者交流会」および「女性だれでも懇談会」にご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様へ心より感謝申し上げます。

# 年会・秋季総合分科会の HP における「女性だれでも懇談会」の開催案内

## 2021年度秋季総合分科会

会場：千葉大学理学部  
日時：2021年9月14日（火）より9月17日（金）  
（市民講演会は9月18日（土））  
大会委員長 久我 健一  
実行委員長 松井 宏樹

日本数学会2021年度秋季総合分科会  
現地開催をオンライン開催に変更  
（講演アブストラクトの公開、特別講演等の動画配信）

### News

- 講演スライドの公開（公開期間：9月14日～10月2日）（2021/09/13）
- 講演アブストラクトの公開（公開期間：9月14日～10月2日）（2021/09/13）
- 緊急連絡先について（2021/09/09）
- ライブ配信・録画配信の視聴とゲスト視聴について（2021/09/09）
- 2021年度日本数学会解析学賞授賞式について（2021/09/09）
- 研究と子育て懇談会（2021/09/06）
- 記者会見について（9月1日）（2021/08/26）
- 一般講演のスライドアップロードについて（2021/08/20）
- 「ムーンショットプログラム説明会」開催について（2021/08/19）
- 英文サマリー集を公開しました（2021/08/10）
- 最終版プログラムを公開しました（2021/08/10）
- 申し込みのあった講演のリストを公開しました（2021/07/13）
- 一般講演アブストラクトのフォントアウトライン化の確認について（2021/07/13）
- 「女性だれでも懇談会」開催について（2021/07/05）**
- 講演申込の受付を開始しました（2021/05/28）
- 会場の申し込みについて（2021/05/28）
- 2021年度秋季総合分科会のオンライン開催について（2021/05/15）
- 2021年度秋季総合分科会の開催方法について（2021/04/30）
- このページを作成しました（2021/03/18）

### 学会活動

声明
学術的会合
顕彰事業
+ 記念事業
WEB広報
ビデオアーカイブ

刊行物
会員へのお誘い

分科会・特別セッション/支部 >

会員各種手続き >

学会講演申込み >

詳細は、開催についてのページに以下のように掲載されています。

## 2021年度秋季総合分科会

TOP | 学会概要 | 学会活動 | 刊行物 | 分科会・特別セッション/支部 | 数学会に興味のある方へ

TOP > 学会活動 > 学術的会合 > 2021年度秋季総合分科会 > 女性だれでも懇談会

### 女性だれでも懇談会

日時:2021年9月16日(木)11:30 - 12:50 (出入り自由)  
会場:Zoomにて開催 (URLは参加登録者にお知らせします。)  
対象:女性研究者 (大学院生を含む)  
趣旨:女性研究者の意見交換・情報交換を目的とします。  
参加登録:以下のURLより参加登録をお願いします。登録受付期間は6月1日から9月13日です。  
<https://...>

### 学会活動

声明
学術的会合
顕彰事業
+ 記念事業